

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「持続可能な観光の企画運営」業務

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

アンケート

12/4（土）開催 第二回持続可能な観光に役立つセミナー

アンケートご協力依頼

本日は第一回持続可能な観光に役立つセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）： _____

1. 本日のセミナーについて ※該当するいずれかに○をつけてください。

- 参加してよかった
- どちらでもない
- 参加しなければよかった

2. 問1について「c. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

- 内容に興味が持てなかった
- 内容に不満があった
- その他（ _____ ）

※a～cを選んだ理由を具体的に記入ください！

3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

また、選んだ理由もお聞かせください。

- 渡嘉敷村の自然・文化・生活等を見つめ直すきっかけになった。
- 渡嘉敷村の観光や生活を高付加価値化する意味や重要性を理解できた。
- 渡嘉敷村の持続可能な観光や生活にとって、アドベンチャーツーリズムに可能性を感じた。
- 村内の事業者・村民同士や、村外で活躍する講師の方々との意見交換ができて、繋がりが持てた。
- 自分自身がこれからアクションを起こすきっかけになった。
- 特に何も感じなかった。
- その他（ _____ ）

※ a～gを選んだ理由を具体的に記入ください！

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

肖像権使用許諾書

肖像使用承諾書

株式会社 JTB 沖縄
代表取締役 社長執行役員 杉本 健次 殿

私は、2021年12月4日に令和3年度渡嘉敷村観光誘客受入業務 持続可能な観光に役立つセミナー参加時に撮影された私の肖像を、株式会社 JTB 沖縄が以下の条件で使用することを許諾します。

使用条件

- 使用範囲（渡嘉敷村観光誘客受入業務）
 - ◆ 事業報告書への掲載
 - ◆ セミナー報告資料
 - ◆ 上記を渡嘉敷村ホームページ等WEBサイトへの掲載
- 期間
 - ◆ 期間の定めなく使用

日付 2021年 12月 4日

住所 _____

署名 _____

【第二回持続可能な観光に役立つセミナー 参加者名簿】

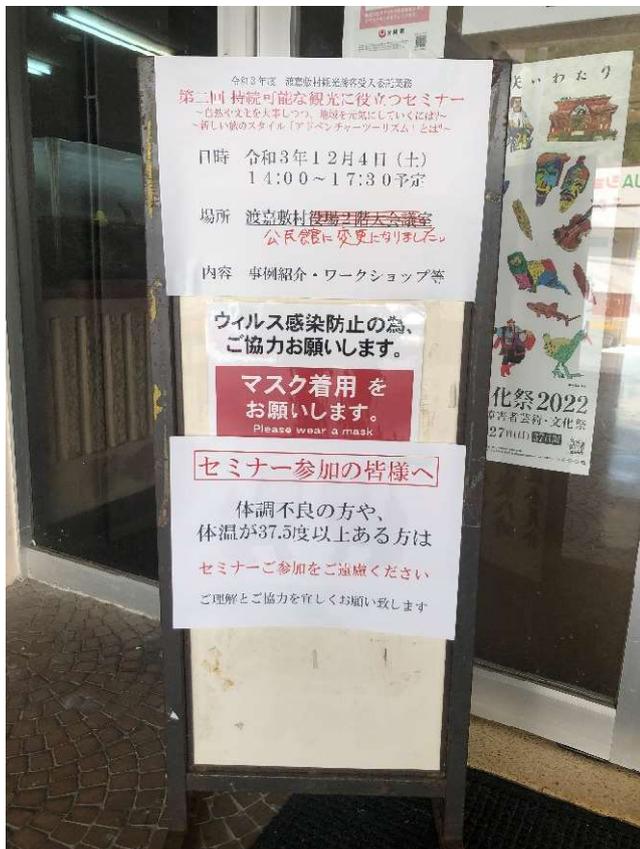
事前申込受付名簿：令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務「12/4（土）開催 第二回 持続可能な観光に役立つセミナー」

	氏名	団体・企業・組織名	備考・その他	参加実績
1				○
2				○
3				○
4				○
5				○
6				○
7				○
8				○
9				○
10				○
11				○
12				○
13				○
14				○
15				○
16				
	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">個人情報のため お名前等はふせております。</p>			
	単位：名 延べ合計			15

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「持続可能な観光の企画運営」業務

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【会場設営・コロナ感染防止対策の様子】



① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【セミナーの様子】



①持続可能な観光に役立つセミナー実施

【アンケート】

12/4（土）開催 第二回持続可能な観光に役立つセミナー

アンケートご協力依頼

本日は第一回持続可能な観光に役立つセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）： _____

1. 本日のセミナーについて ※該当するいずれかに○をつけてください。

- a. 参加してよかった
- b. どちらでもない
- c. 参加しなければよかった

2. 問1について「c. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

- a. 内容に興味を持てなかった
- b. 内容に不満があった
- c. その他（ _____ ）

※a～c を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

また、選んだ理由もお聞かせください。

- a. 渡嘉敷村の自然・文化・生活等を見つめ直すきっかけになった。
- b. 渡嘉敷村の観光や生活を高付加価値化する意味や重要性を理解できた。
- c. 渡嘉敷村の持続可能な観光や生活にとって、アドベンチャーツーリズムに可能性を感じた。
- d. 村内の事業者・村民同士や、村外で活躍する講師の方々との意見交換ができて、繋がりが持てた。
- e. 自分自身がこれからアクションを起こすキッカケになった。
- f. 特に何も感じなかった。
- g. その他（ _____ ）

※ a～g を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。

また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【アンケート集計結果】

延べ参加人数15名中14名から回収（回収率：93%）

Q1. 本日の協議会について

	項目	回答数	構成比
a	参加して良かった	13	260%
b	どちらでもない	1	20%
c	参加しなければよかった	0	0%
	合計	5	280%

Q2. Q1にて「参加しなければよかった」と選択された方へ、その理由をお聞かせください。

	項目	回答数	構成比
a	内容に興味を持てなかった	0	#DIV/0!
b	内容に不満があった	0	#DIV/0!
c	その他	0	#DIV/0!
	合計	0	#DIV/0!

※a～cを選んだ理由を具体的にご記入ください。

Q3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

	項目	回答数	構成比
a	渡嘉敷村の自然・文化・生活等を見つめ直すきっかけになった。	5	16%
b	渡嘉敷村の観光や生活を高付加価値化する意味や重要性を理解できた。	5	16%
c	渡嘉敷村の持続可能な観光や生活にとって、アドベンチャーツーリズムに可能性を感じた。	7	22%
d	村内の事業者・住民同士や、村外で活躍する講師の方々と意見交換ができて、繋がりが持てた。	4	13%
e	自分自身がこれからアクションを起こすキッカケになった。	7	22%
f	特に何も感じなかった。	3	9%
g	その他 →村内でAT普及を目指す為に色々アイデアが湧いてきた。	1	3%
	合計	32	100%

※a～gを選んだ理由を具体的にご記入ください。

- ・現時点の島にある価値を考えた時に、思い浮かぶことがたくさんあった。
- ・島の家、生活、道はない野をのりこえてゆく崖地など。
- ・少人数制を実施しているので、内容の特化したもの
- ・自然を守る必要性は誰でも感じているが、ATの目的と合致し、地域の人々のより理解が進む
- ・ATにとって当該地域の暮らしや自然、産業がとても重要な資源であることを考えれば、SDGsの考え方とマッチする。
- ・とにかく、これからは渡嘉敷島をもりあげて行きたいと思いました。もっと他の方に渡嘉敷の自然を知ってもらいたいと思います。
- ・AT活用以前に環境保全に対する意識を高める必要があると考える。
- ・地域がATに興味を持つきっかけになったと思う。今後も形を変えてこうした場を作ると良いと思った。
- ・現在の自分自身の立ち位置の中で考えるとこの重要性を感じることができました。
- ・ATのことが良くわかった。
- ・人材育成セミナー、シンポジウム等、様々な取り組みができると感じた。

Q4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。

また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

- ・土日は、観光業の方、子どもがいる方には参加はむずかしいと思います。平日の夜のほうが良いのでは！
- ・次回は村民同士の意見交換をもっと深く！
- ・公民館は実は音響が悪いですね。役場会議室は空調も効いていて良かったかも知れません。
- ・多くの村民が参加できることがもっとも大事だと思います。声かけあいもしたいです。
- ・はじめさんが発言された村民の参加は課題ですね。国立高専側も会議等する際、難しいと思っています。
- ・アドベンチャーの意味（岩浅さんが説明されていた内容）がアドベンチャーだけだとわかりづらいですね。
- ・本島参加者を募っていい場合は日帰りができる時間帯の実施でもいいかと思った。村と本島との交流で新たなきっかけが生まれると思う。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

第三回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー 「観光客をシェアする、地域全体が儲かる持続可能な観光」

日時：令和4年2月21日（月）18：00～20：30

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

話題提供者：大沢 竜児 株式会社 大竜ファーム 代表取締役
上田 嘉通 （一社）離島総合研究所 代表理事

全体司会：山城 栄 運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【セミナー開催案内チラシ】



令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

村民必見！

村民皆様が対象！！

第三回 持続可能な観光に役立つセミナー
開催について

～観光客をシェアする、地域全体が儲かる持続可能な観光～

◆地元の八丈島で推奨農家を営みながら、島の様々課題解決に取り組む大沢氏、
離島総合研究所の上田氏を招いてのセミナーを開催！

本セミナーは「豊かな自然環境や地域の特色を活かした持続可能な観光」や「With コロナ・Afterコロナに向けた安心・安全な観光」を目指して実施しております。
最終となる第三回セミナーは、他離島事例紹介として東京都・八丈島で活動する大沢竜児氏をゲストに招き、対話形式のセミナーを開催いたします。 **村民の皆様 事業者の皆様 ご参加をお待ちしております！**

◆開催日時
日時：令和4年2月21日（月）
場所：渡嘉敷村役場2階大会議室
※参加人数によっては中央公民館へ変更になる場合もございます。
時間：18：00～21：00頃までを予定
※ご都合の良い時間での参加も大歓迎！
※休憩を挟みながらのセミナーです。
※新型コロナウイルス感染症感染防止対策を踏まえて、セミナーを開催いたします。

◆内容
東京都・八丈島では、島内事業者が連携したチーム八丈島が結成され、島内で観光客を共有し合い、滞在・消費を拡大させる仕組みを構築。事業者同士での信頼関係をどう構築したのか、紐解いていく。

お申込みフォーム

■ 2/21（月）開催 第三回 持続可能な観光に役立つセミナーへのご参加

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

■ 事前アンケートへのご協力をお願いいたします！

アンケート項目	回答欄
本セミナーで聞きたい事や身につけたい事、期待する事はありますか？	➡
その他、質問や疑問などをご自由にご記入ください。 例）やりたい事があるけど、どうやれば良いか分からず困っている。	➡



← QRコードや下記URLからも回答できます！
<https://forms.office.com/r/QRKeJdJE53>

今後のセミナー開催予定情報

■ WEB・アンケート調査 結果報告会
日時：令和4年2月以降予定
内容：村内向けアンケート調査や、WEB調査の結果報告会を予定しております。

～お申し込み、問い合わせ先～
株式会社JTB沖縄 交流営業課 交流営業課 山城、大塚
098-860-7704 s_yamashiro@okw.jtb.jp

お申込方法や問い合わせ先については、
裏面をご確認ください。

36

①持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

次第

令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

第三回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー

「観光客をシェアする、地域全体が儲かる持続可能な観光」

セミナー進行次第

日時：令和4年2月21日（月）18：00～20：30 予定

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室 ※変更になる場合あり

1. セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おぎき のりお）より事業概要説明
3. 話題提供者のご紹介
4. 大沢氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
5. 上田氏進行による講話を受けての意見交換、質疑応答、振り返り等
6. 本日のまとめ等
7. 運営事務局より事務連絡等
8. セミナー閉会
※休憩を挟みながらのセミナーとなります。

話題提供者：大沢 竜児（おおさわ りょうじ）
株式会社 大竜ファーム 代表取締役

上田 嘉通（うえだ よしみち）
（一社）離島総合研究所 代表理事

司会：山城 栄（やましろ さかえ）
運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【配布資料】

1. 本次第
2. セミナータイムスケジュール
3. 講師セミナー資料 2部
4. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）
5. 「第三回 渡嘉敷村・持続可能な観光に役立つセミナー」パンフレット
6. アンケート
7. 肖像使用承諾書

※その他、当日追加になる場合もございます。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

セミナータイムスケジュール

第三回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー 「観光客をシェアする、地域全体が儲かる持続可能な観光」

令和4年 2/21（月）18:00～20:30予定

話題提供者：株式会社 大竜ファーム・大沢氏
（一社）離島総合研究所・上田氏

時間	Lap	セミナー内容
18:00 ～ 18:05	5	開会、事業概要説明
18:05 ～ 18:10	5	自己紹介など
18:10 ～ 19:25	75	大沢氏による講話 ・東京都八丈島事例紹介 株式会社大竜ファームでの事業取組み等 ・八丈島内で観光客を共有し、滞在・消費を拡大させる取組み等
19:25 ～ 19:35	10	休憩
19:35 ～ 20:20	45	上田氏進行による講話を受けての 意見交換、質疑応答、振り返り等
20:20 ～ 20:25	5	本日のまとめ
20:25 ～ 20:30	5	事務連絡、セミナー閉会

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

3本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の背景、目的

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間13万人を超える観光客が足を運ぶ人気の観光地である。

また、平成26年3月5日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で31番目の国立公園に指定されたことにより、島を訪れる観光客が年々増加する傾向にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、今まで以上に外国人観光客の受入推進が求められている。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成29年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5カ年）」を策定した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光需要が大きく減少し、各地で外出や観光のあり方が見直されているなか、渡嘉敷村においても、従来までの観光誘客ではなく「Withコロナ・Afterコロナ」に対応できる観光コンテンツの造成や、「新しい生活様式」に対応した受入体制の構築が求められている。

本事業は、新たな価値観による旅行需要の変化を把握し、持続可能な観光誘客と的確な情報発信、安心・安全な体制を構築することで、渡嘉敷村を訪れる観光客の増加に繋げることを目的として実施する。

事業の提案については、「渡嘉敷村観光振興計画（平成29年度）」P30「3-3 基本施策と取り組みの体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果について明記する。また、企画提案及び事業の実施体制については、新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大による影響等も十分に留意した上で実施する。

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の実施方針

地域住民（事業者含む）と連携・協働し、横断的な地域づくりによる新たな受入体制整備と社会情勢を的確に判断した誘客施策を通して、渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む

■ 今後のセミナー開催予定

※下記セミナーの会場は、渡嘉敷村役場2階大会議室もしくは、渡嘉敷村中央公民館1階大ホールを予定しています。

■ 第二回 持続可能な観光に役立つセミナー（確定情報）

日時：令和3年12月4日（土）午後から

内容：これからの観光振興に重要とされる、自然や文化や地域を大事しつつ、観光を通じて地域資産を経済価値に結びつけていく。アドベンチャーツーリズムの考え方を通して、持続可能な destinations のあり方を共有する。

■ 第三回 持続可能な観光に役立つセミナー

日時：令和4年1月下旬もしくは、2月上旬を予定

内容：東京都・八丈島では、島内事業者が連携したチーム八丈島が結成され、島内で観光客を共有し合い、滞在・消費を拡大させる仕組みを構築。事業者同士での信頼関係をどう構築したのか、紐解いていく。

■ 渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー ※令和2年度に引き続き開催決定！

日時：第一回 令和3年11月下旬もしくは、12月中旬／第二回 令和4年1月下旬
／第三回 令和4年2月中旬

内容：ホールアース自然学校 がじゅまる自然学校・小林氏の進行による対話形式セミナーとフィールドワークを予定。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

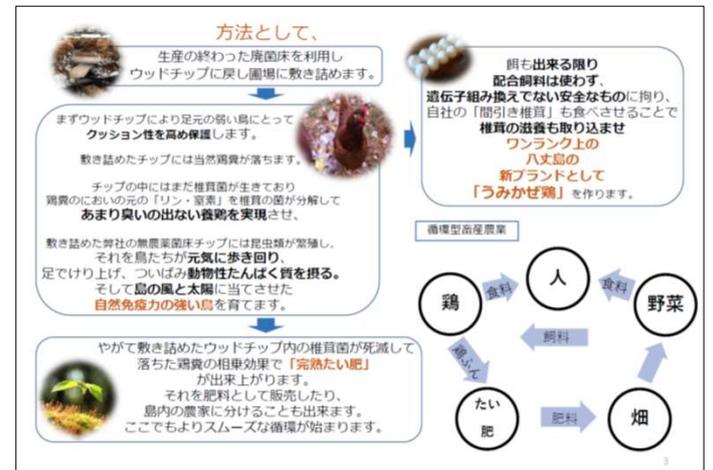
セミナー講師資料 ※一部抜粋



(株)大竜ファーム循環型農業養鶏事業



作成 令和3年6月17日
 株式会社 大竜ファーム
 大沢 竜児
 TEL/FAX 04996-7-0136



【観光庁：域内連携促進事業】
 TOKYOの島・八丈島をまるごと学ぶ！
 複合型体験ツーリズム事業

アンケート結果報告

■ 評価・分析について

アンケート結果や自由記述の回答からコンテンツに対する評価は以下の通りでした

総評	約95%の参加者が、ツアー参加への満足度として評価していることから、今後の販売を目的としたファームツアーとしては成功であったと言える。 開発したコンテンツの中には「島の特徴を強（出した）かった内容」もあり、バラエティに富んでいた、しかし、アンケートの結果を見るとやはり一般受けするコンテンツが評価をより受けていることから今後また改良の余地が見受けられる。 今後の販売について、アンケートで明確なリテリングは行わなかったものの、参加者からの意見で商品化に興味のある方が多く、今後コンテンツを取りながら販売に向けた具体策を練っていく。
コンテンツ	【満足度の高かったコンテンツも】 約85%の方の支持により満足度が高かったコンテンツ1位として「うみかぜ椎茸」を挙げている。 これは、本土のキノコ栽培の技術と島の土壌等の環境が相まって成功した「きのこ栽培」であり、観光要素として「その場でビッキング」「その場で調理」と言った内容を付加したコンテンツである。意見交換会では、コンテンツ内容は高評価であるものの「販売」は必要と見なされることが多かった。運用面では対応人数が10数名である事から大人気には向いていないとの事であった。 コンテンツへのさらなる付加価値の増やしつつは、島の他の産物との組み合わせで広がりがあるように展開する、ある程度の期間をかけ、その経験農業体験等の発想が必要となるであろう。運用視点では、大手旅行会社が行う団体旅行には対応できないので、専ら個人ツアーとしての島の観光協会等で体験販売することやコンテンツ化による販路などが考えられる。いずれにしても運用、販売はマンパワーが必要となるので今後ディスカッションが必要である。

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「持続可能な観光の企画運営」業務

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

アンケート

肖像権使用許諾書

2/21（月）開催 第三回持続可能な観光に役立つセミナー

アンケートご協力依頼

本日は第三回持続可能な観光に役立つセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方をはじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）：

1. 本日のセミナーについて ※該当するいずれかに○をつけてください。

a. 参加してよかった
b. どちらでもない
c. 参加しなければよかった

2. 問1について「0. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

a. 内容に興味が持てなかった
b. 内容に不満があった
c. その他（ ）

※a～cを選んだ理由を具体的に記入ください！

3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

また、選んだ理由もお聞かせください。

a. 渡嘉敷村の自然・文化・生活の中にある魅力を、さらに高めていく必要性や重要性を理解できた。
b. 村内の業種を問わず、連携を図っていく仕組みづくりの参考になった。
c. 村内の事業者・村民同士や、村外で活躍する講師の方々との意見交換ができて、繋がりが持てた。
d. 自分自身がこれからアクションを起こすキッカケになった。
e. 特に何も感じなかった。
f. その他（ ）

※ a～fを選んだ理由を具体的に記入ください！

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

肖像使用承諾書

株式会社 J T B 沖縄
代表取締役 社長執行役員 杉本 健次 殿

私は、2022年2月21日に令和3年度渡嘉敷村観光誘客受入業務 持続可能な観光に役立つセミナー参加時に撮影された私の肖像を、株式会社 J T B 沖縄が以下の条件で使用することを許諾します。

使用条件

1. 使用範囲（渡嘉敷村観光誘客受入業務）

- ◆ 事業報告書への掲載
- ◆ セミナー報告資料
- ◆ 上記を渡嘉敷村ホームページ等WEBサイト、Youtube、SNS への掲載

2. 期間

- ◆ 期間の定めなく使用

日付 2022年 2月 21日

住所

署名

【第三回持続可能な観光に7役立つセミナー 参加者名簿】

事前申込受付名簿：令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務「2/21（月）開催 第三回 持続可能な観光に役立つセミナー」

	氏名	団体・企業・組織名	備考・その他	参加実績
1	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; color: white;"> 個人情報のため お名前等はふせております。 </div>			○
2				○
3				○
4				○
5				○
6				○
7				○
8				○
9				○
単位：名 延べ合計				8

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【会場設営・コロナ感染防止対策の様子】



① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【セミナーの様子】



①持続可能な観光に役立つセミナー実施

【アンケート】

2/21（月）開催 第三回持続可能な観光に役立つセミナー

アンケートご協力依頼

本日は第三回持続可能な観光に役立つセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）： _____

1. 本日のセミナーについて ※該当するいずれかに○をつけてください。

- a. 参加してよかった
- b. どちらでもない
- c. 参加しなければよかった

2. 問1について「c. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

- a. 内容に興味を持てなかった
- b. 内容に不満があった
- c. その他（ _____ ）

※a～c を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

また、選んだ理由もお聞かせください。

- a. 渡嘉敷村の自然・文化・生活の中にある魅力を、さらに高めていく必要性や重要性を理解できた。
- b. 村内の業種を問わず、連携を図っていく仕組みづくりの参考になった。
- c. 村内の事業者・村民同士や、村外で活躍する講師の方々との意見交換ができて、繋がりが持てた。
- d. 自分自身がこれからアクションを起こすキッカケになった。
- e. 特に何も感じなかった。
- f. その他（ _____ ）

※ a～f を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。

また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

①持続可能な観光に役立つセミナー実施

【アンケート集計結果】

延べ参加人数8名中7名から回収（回収率：87%）

Q1. 本日の協議会について

	項目	回答数	構成比
a	参加して良かった	7	100%
b	どちらでもない	0	0%
c	参加しなければよかった	0	0%
	合計	7	100%

Q2. Q1にて「参加しなければよかった」と選択された方へ、その理由をお聞かせください。

	項目	回答数	構成比
a	内容に興味を持てなかった	0	#DIV/0!
b	内容に不満があった	0	#DIV/0!
c	その他	0	#DIV/0!
	合計	0	#DIV/0!

※a～cを選んだ理由を具体的にご記入ください。

Q3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

	項目	回答数	構成比
a	渡嘉敷村の自然・文化・生活の中にある魅力を、さらに高めてゆく必要性や重要性を理解できた。	6	40%
b	村内の業種を問わず、連携を図っていく仕組みづくりの参考になった。	4	27%
c	村内の事業者・住民同士や、村外で活躍する講師の方々と意見交換ができて、繋がりが持てた。	2	13%
d	自分自身がこれからアクションを起こすキッカケになった。	3	20%
e	特に何も感じなかった。	0	0%
f	その他	0	0%
	合計	15	100%

※a～fを選んだ理由を具体的にご記入ください。

- ・ 不要な物に命を見出して、新たな産業を生み出したやり方に感動しました。本来なら、成功者が講師になる所（もちろん大成功だろと思いますが）失敗や今後のVisionを共有させて頂き、何だか同じ視点で、勇気をもらえました。
- ・ きっとどの産業の担い手であっても観光分野で成功することはできると思っています。むしろ、本業をしっかりやっていればいるほどこれからの観光では注目されると思っています。益々他業種連携が大事ですね。
- ・ 行政が事業者意識を持ち、協力体制を構築していく事、じゅうなんな対応が求められるし、必要だと感じました。
- ・ 八丈島のパンフレットも見てみたかった。 八丈島についてもっと知りたい、行ってみたいくなった！！

Q4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。

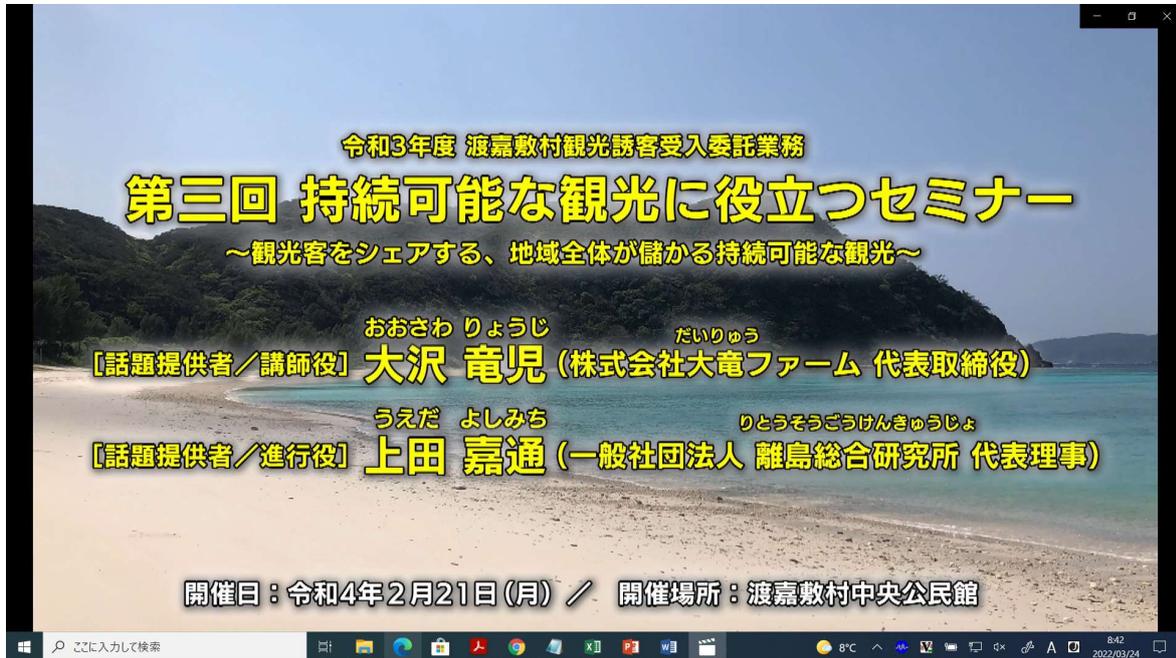
また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

- ・ 鶏のこともパンフにあれば、興味ある方、来たかも。 参加者が毎回少なくて、良い話なのにもったいないです！
- ・ 学んで、話を聞いて、何かやりたいという空気ができてきたのかも知れません。しかし、皆一人でやり始めるのは力が必要。それを具体的に後押しできる機会があると良いと思います。
- ・ 平日午後が一番参加しやすいです！ 次回も楽しみにしています。が、いつも同じメンバーの参加なのが少し残念ですね。
- ・ このようなセミナーは内容としても学ぶ事が多い。 多ジャンルでももっと参加者が増えると良いなと感じる。

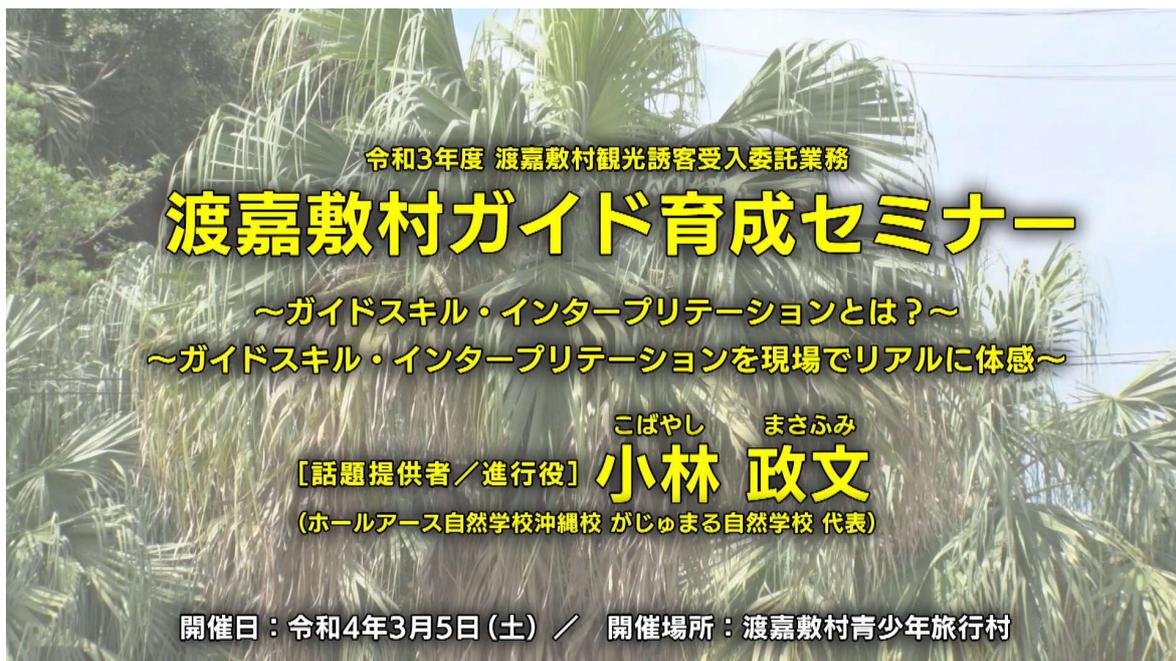
(2) 「持続可能な観光の企画運営」業務

③ 動画制作

【2/21 (月) 開催 持続可能な観光に役立つセミナー動画】



【3/5 (土) 開催 渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー動画】



1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「観光データ基礎調査・分析について」

(1) 「観光データ基礎調査・分析について」

① WEB調査、事業者・村民アンケート

※一部村民アンケート分析あり

基本属性

●性別年代

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	計
男性	300	300	300	300	300	1500
女性	300	300	300	300	300	1500
計	600	600	600	600	600	3000

●居住地

居住地	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
人数	95	5	8	33	7	11	14	47	35	27	231	183
%	3.2%	0.2%	0.3%	1.1%	0.2%	0.4%	0.5%	1.6%	1.2%	0.9%	7.7%	6.1%

居住地	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
人数	609	330	18	12	17	16	12	30	40	44	206	33
%	20.3%	11.0%	0.6%	0.4%	0.6%	0.5%	0.4%	1.0%	1.3%	1.5%	6.9%	1.1%

居住地	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
人数	22	71	287	172	31	13	9	7	27	42	19	6
%	0.7%	2.4%	9.6%	5.7%	1.0%	0.4%	0.3%	0.2%	0.9%	1.4%	0.6%	0.2%

居住地	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	計
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
人数	13	15	6	119	7	19	15	15	14	8	0	1,158
%	0.4%	0.5%	0.2%	4.0%	0.2%	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.3%	0.0%	31%

●個人年収・世帯年収

	100万円未満	100万円～ 200万円未満	200万円～ 300万円未満	300万円～ 400万円未満	400万円～ 500万円未満	500万円～ 600万円未満	600万円～ 700万円未満	700万円～ 800万円未満
個人年収	606 20.2%	264 8.8%	331 11.0%	369 12.3%	315 10.5%	229 7.6%	149 5.0%	154 5.1%
世帯年収	63 2.1%	75 2.5%	165 5.5%	293 9.8%	312 10.4%	266 8.9%	251 8.4%	257 8.6%

	800万円～ 900万円未満	900万円～ 1,000万円未満	1,000万円～ 1,500万円未満	1,500万円～ 2,000万円未満	2,000万円以上	わからない・答 えたくない	計
個人年収	86 2.9%	69 2.3%	122 4.1%	25 0.8%	40 1.3%	241 8.0%	3000 100%
世帯年収	207 6.9%	175 5.8%	379 12.6%	108 3.6%	99 3.3%	350 11.7%	3000 100%

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果 サマリー まとめ

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリーまとめ ①

調査結果サマリーまとめ

- 渡嘉敷村の認知と来訪経験について
渡嘉敷村の認知は全体で約8割と高いものの、来訪自体は3割程度にとどまる。
他の離島よりはアクセスが良いが、実際の来島となると時間的なゆとりや、渡嘉敷島へのアクセスなど沖縄本島よりはハードルがあがってしまうため、来島経験者が認知に比べて低い傾向となっているものと推察される。
但し、渡嘉敷村に対する魅力を感じている人が8割と多く、特に20代～30代の若い世代に魅力を感じている割合が高い傾向となっている。
- 渡嘉敷村の認知経路について
TV番組／TV CMからの認知が比較的高い。
20代は、SNSからの認知が他の世代よりも高めとなっている。

考察1

渡嘉敷村の認知が高く魅力を感じている20代～30代の実際の来訪率アップのためには、渡嘉敷村へのアクセスや村でのアクティビティなど具体的な旅行計画に繋がるようなアプローチが重要と思われる

- また渡嘉敷村のアドベンチャーツーリズムに対する興味も6割強と高め。
特に船から、又は陸からのホエールウォッチングやナイトツアーなどへの関心が高い。
実際、アドベンチャーツーリズム経験者は、沖縄県(本島・離島)での体験が多くなっており、体験したことがある層は比較的アドベンチャーツーリズムへの参加意向が高いものと思われる。
⇒アドベンチャーツーリズムに対する必要性は今後も高まる傾向であると思われる
- 渡嘉敷村のワーケーションについては、ワーケーション自体を実践する企業がまだまだ多くはないということもあり、ワーケーション自体への興味が低いため、当然ながら渡嘉敷村のワーケーションへの興味も30%台と低い傾向となっている。
また、ワーケーションをする場所に求められる通信環境、PC環境などの基本的要素が大前提となるためその部分でのクリアが出来ているかが重要となってくる。
またバケーションロケーションとしては渡嘉敷村への自然環境に対しては充分満足が出来そうだと思われる。
⇒都心部と同程度のビジネスに対応できる通信環境、PC環境が離島でどの程度クリアされるのかはワーケーションする側の最も気になる要素となるものと推察される。

考察2

ワーケーションを渡嘉敷村でやってみたい、興味関心がある層は、渡嘉敷村への魅力を十分に感じており、環境さえ整えばワーケーションを実際にされるであろう層が存在しているものと推察される。今後ワーケーション利用を促進するにはビジネスに対応できる通信環境、PC環境が渡嘉敷村でどの程度クリアできるかが課題と思われる。

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリーまとめ ②

調査結果サマリーまとめ

- 渡嘉敷村への来訪時期とコロナ過に於ける懸念
渡嘉敷村への今後の来訪したい時期はゴールデンウィークや夏休み、盆休みなどの大型連休となる時期「4月」「5月」「7月」「8月」が最も多くなっている。
また、コロナ過での渡嘉敷村来訪に対する不安は、“旅行自体を楽しくできるかどうか”、“感染症対策は十分か”という要素の項目が高い傾向となっている。

考察3

コロナ過の旅行については高齢者ほど不安や懸念が高く、渡嘉敷村への感染対策に対してもナーバスな傾向が伺える。

コロナ過の新しい旅のスタイルに適応した対策がなされているかどうか、旅行者にとっては旅行先選択に於いて重要な事項であり、渡嘉敷村のコロナ対策の情報開示と情報訴求が来訪への不安払拭に繋がるものと思われる。

● 事業者へのヒアリングから

渡嘉敷村への観光客は夏場に多く、冬場に少ないことが課題であると思われる様子であり、冬場の観光客誘致に力を入れるべきと考えている事業者が半数以上ある。

理由としては、通年での観光客誘致による収入の安定化及び島の活性化であり、施策として冬場の観光メニューの充実とPRをすべきという意見がみられた。

また、観光客が増えることに対する懸念としては、受け入れ施設及び体制の不足や、島自体の環境破壊など観光客マナーの悪さに対する意見が見られた。

特にマナーの悪い観光客（国内外）が増えることへの懸念は事業者及び住民ともに島自体の課題であるものと思われる。

⇒観光産業で成り立っていることを理解しつつも、マナーの悪い観光客が増えることでのストレスを抱えている状況が見受けられる。

本音は、質のいい（マナーがいい・消費単価が高い）観光客の誘致を高めたいということが伺える。

また、令和3年度の住民へのアンケートでは、10年前と比べた時、多くの観光客が訪れ、船に乗れないこともあり、マナーの悪さ、サンゴなどの自然環境が壊された（バイク、車の運転・事故、水着一枚で歩く姿を見かけるなど）という声も上がっており、環境や住民に配慮したマナーづくり・整備が求められている。

考察4

マナーの悪い観光客への対策として、外国人であれば各国語に対応したマナーブックの配布など観光客自体のマナー向上は今後、渡嘉敷村への観光客誘致を増やすうえで重要と思われる。

また、日本人観光客誘致のために、より具体的な渡嘉敷島への交通アクセスプランや渡嘉敷島でのバケーションプランを可視化することで、来訪への促進を図るようなことが重要と思われる。

例えば渡嘉敷村独自のYouTubeチャンネルなど渡嘉敷村からの情報発信を活性化させる必要性があるものと思われる。

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリーまとめ ③平成28年 渡嘉敷村アンケート調査事業者意識調査より

平成28年 渡嘉敷村アンケート調査
事業者意識調査より

- 目標の売り上げに対する売り上げ達成 80%以上が30%

60%未満までが35%、60～80%未満が35%で、100%達成している事業者は3割にとどまっている。
理由は、**繁忙期と閑散期での稼働率に大きな差異があり**

繁忙期の稼働率は80%以上が6割、閑散期の稼働率は20%未満が5割強となっている。
このため、**閑散期の稼働率アップは年間を通しての売り上げ安定化のためにも必要不可欠である。**

- 冬場(閑散期)に提供したいサービス・商品としては、

- ・ウォークラリーや子供も大人も参加できる自然を活かしたテーマのアトラクション、ロープウェイや山を使用したもの
- ・島内観光コース
- ・島でしか味わえない食べ物など
- ・ホエールウォッチング
- ・クリスマス、イルミネーション
- ・島内観光、レンタカー、バイク、サイクル、釣
等意見が上がり、現在は実際に提供しているサービスとなっている。

考察5

観光産業を主体とする地域にとっては閑散期の集客はどこも課題となっており、閑散期に於ける集客策は事業者単体で解決できる問題ではなく、地域全体として取り組む必要性があり、またより大きな地域としてのまとまりにより成功している事例もあるので、渡嘉敷島を含む慶良間諸島の島々との連携による閑散期集客を考えていくことが重要であるものと思われる。

地域での取り組みによる集客の成功事例

体験×クーポンによる旅行需要喚起 ～三重県の事例～

課題

新型コロナウイルス感染症の影響で旅行やお出かけ控えで集客が出来ない
体験事業者も売上が大幅に減少し、厳しい経営状況を何とかしたい

施策

- ・三重県内の体験・アクティビティの半額クーポンを配布
- ・ウェブなどを活用して半額キャンペーンを訴求

成果

- ・開始後1日で300人以上がクーポンを利用
- ・開始後約2週間で、昨年1年間の県内総予約数にほぼ匹敵

※新型コロナウイルス感染防止対策として、キャンペーン対象者を
「三重県・岐阜県・愛知県・奈良県・大阪府・和歌山県の在住者」に制限しての実施



①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリーまとめ ④ 離島への集客事例

離島による集客及びPR施策事例

小笠原ファン層を巻き込んだ小笠原PRによる旅行需要喚起 ～小笠原観光局の事例～

課題

小笠原への安定的な集客
小笠原の魅力をより広く伝えることで集客へ繋げたい

施策

- ・小笠原のファン層の囲い込み—アンバサダー
- ・個人のSNSやブログなどを活用して小笠原の魅力を訴求



1 小笠原が大好きな方

2 イベントやモニターに参加してくれる方

グッズプレゼントなどの特典も

3 小笠原の魅力や価値を一緒に広めてくれる方

上記施策の他に小笠原観光局ではワーケーションプログラムや様々な企画を提供している

小笠原では事業者を取りまとめる観光局が主体となって様々な集客施策を行い、Webでの発信をしている。

⇒自治体や社団法人などの母体となり、事業者を取りまとめ推進することで、安定的な集客のための様々な施策を実施継続していくことが観光産業が主な収入源となる地域にとっては、重要であることがうかがえる。

小笠原観光局
2021年11月16日

【小笠原初心者向けイベント情報！】

あまり知られていない小笠原諸島の魅力を小笠原観光局の職員がゆっくり、丁寧にお話しさせていただくイベント「小笠原アカデミー」を開催します。

今回は全国各地から参加できるオンライン開催です！

小笠原について全然知らなくても、大丈夫。初心者向けの内容となっていますので安心してください。

お申込みはコチラから
<https://ogasawaraacademy-online@peatix.com/>
ご参加お待ちしております！



小笠原観光局
2021年10月7日

小笠原旅行の宿選びに悩んでいる方へ朗報です！

この度、小笠原マガジンの連載企画として、小笠原観光協会（父島）スタッフによる【宿めぐりツアー】がスタートしました！この企画では、お宿のPR動画をもとに、スタッフが取材を通じて感じた感想・取材時の裏話などをご紹介していきます。

これから小笠原旅行を計画する際には、是非【宿めぐりツアー】をチェックしてみてくださいね。貴方にピッタリなお宿と巡り合えるかもかもしれません！

▼詳しくはこちら！▼
<https://www.visitogasawara.com/archive/archive-5651/>



都内にある世界自然遺産、小笠原でテレワーク・ワーケーション！？

期間：指定なし

【リスヴェル編集部】

2020年02月25日公開

エリア：アジア > 日本 > 東京 / ジャンル：ライフスタイル



小笠原観光局では、企業の福利厚生制度を活用した長期休暇やテレワーク、ワーケーション、個人事業者のノマドワークといった「働き方改革」を応援している。

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果 サマリー 概要

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ①

■新型コロナウイルス感染症流行以前、以後の旅行について

新型コロナウイルス感染流行まえの旅行頻度は、2～3ヶ月に1回程度以上が半数を占める。半年に1回以上では、8割～9割弱となる。

新型コロナウイルス感染症流行以前の旅行頻度は高く、どの世代も半年に1回以上旅行に行っている割合は、8～9割弱となっている。

2～3ヶ月に1回以上は、2人に1人の割合。

・特に60代以上は「2～3ヶ月に1回程度」の割合が他の世代よりも高い。(詳細はP13グラフ参照)

		n=		「1ヶ月に1回以上」+「2～3ヶ月に1回程度」の割合	「1ヶ月に1回以上」+「2～3ヶ月に1回程度」+「半年に1回程度」の割合
				2～3ヶ月に1回以上	半年に1回以上
全体		3000	47.1	81.7	
性別	男性	1500	49.9	83.2	
	女性	1500	44.4	80.2	
年代別	20代以下	600	44.5	78.5	
	30代	600	46.8	82.5	
	40代	600	44.0	78.8	
	50代	600	46.5	83.0	
	60代以上	600	53.8	85.7	
	0	0	0	0	0
性別・年代別	男性：20代以下	300	48.0	82.3	
	男性：30代	300	51.7	85.0	
	男性：40代	300	46.7	80.0	
	男性：50代	300	47.0	82.7	
	男性：60代以上	300	56.0	86.0	
	女性：20代以下	300	41.0	74.7	
	女性：30代	300	42.0	80.0	
	女性：40代	300	41.3	77.7	
	女性：50代	300	46.0	83.3	
	女性：60代以上	300	51.7	85.3	

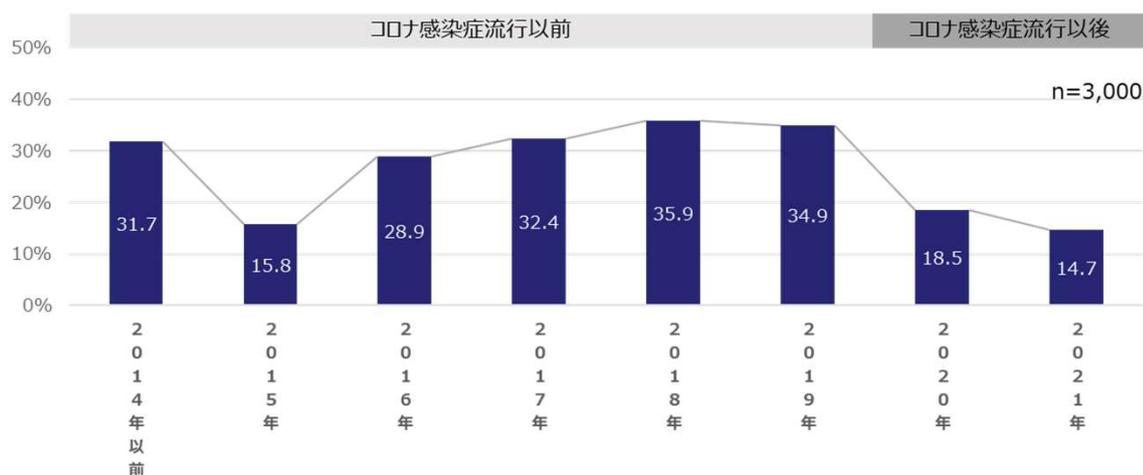
5割以上 (44.5%以上で四捨五入)
6割以上 (54.5%以上で四捨五入)
8割以上 (74.5%以上で四捨五入)
9割以上 (84.5%以上で四捨五入)

旅行目的の沖縄旅行は、2016年(約30%)より順調な伸びで2019年までは微増傾向であったが、新型コロナウイルス感染流行後の2020年は20%未満、2021年は10%台の前半まで減少。

コロナ感染症流行により、全体的に2020年の沖縄来訪が大きく減少し、2021年は更に減少となっている。2020年の最も沖縄来訪が多かった層は男性：20代以下と男性：30代で全体数値よりも5.0ポイント以上高くなっており、コロナ渦においても沖縄に行っている率が比較的高い層と思われる。

2021年はどの年代層も20%未満となっており、女性：60代以上では10%未満となっており、2020年よりもコロナ感染症流行の影響が全世代に出ている。(詳細はP14グラフ参照)

旅行目的での沖縄県来訪時期(年)



①WEB調査、事業者・村民アンケート

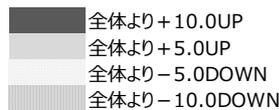
調査結果サマリー概要 ②

■渡嘉敷村の認知と来訪経験について

約8割が渡嘉敷村を認知。来訪経験者は3割前後。

認知率は高いが、来訪については、全体の3割にとどまる。認知者のうちの来訪率も約4割程度となっている。

・年代別で見ると、20代以下の認知者78.0%に対して、来訪経験者は43.3%、30代の認知者86.7%に対して来訪経験者は50.0%となっており、対認知者の来訪比率では、5割以上となっている。特に来訪経験者では、男性:20代以下～40代が高くなっている。
女性:60代以上の来訪経験者は少ない。
(詳細はP15グラフ参照)



来訪経験者、認知者の訪問比率

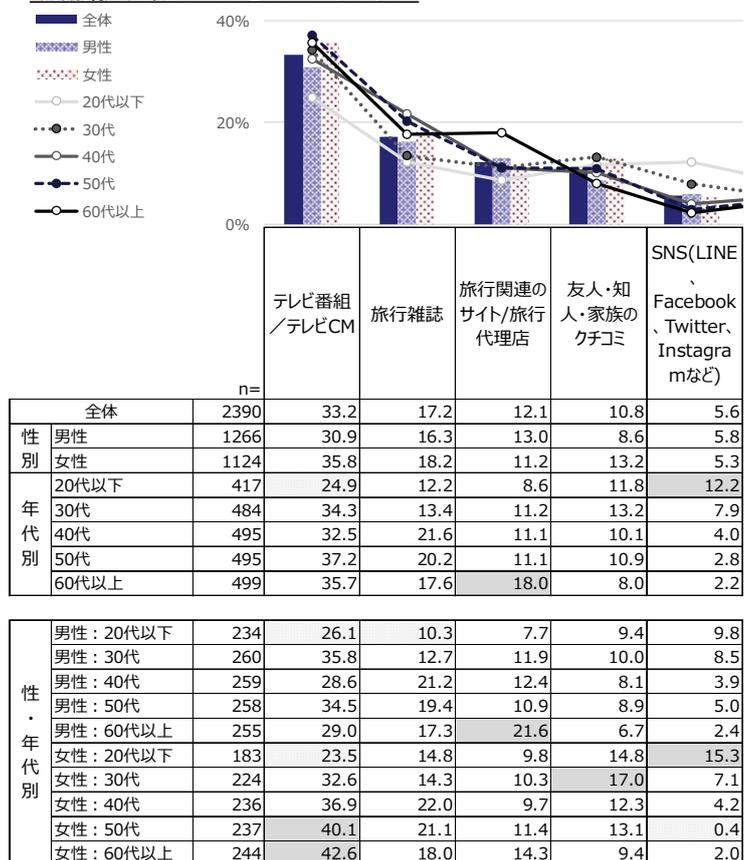
		n=	来訪経験者	認知者	対認知者の来訪比率
全体		3000	30.8	79.7	38.6%
性別	男性	1500	38.3	84.4	45.3%
	女性	1500	23.3	74.9	31.0%
年代別	20代以下	600	34.0	69.5	48.9%
	30代	600	38.8	80.7	48.1%
	40代	600	33.7	82.5	40.8%
	50代	600	26.8	82.5	32.5%
	60代以上	600	20.5	83.2	24.6%
性・年代別	男性: 20代以下	300	43.3	78.0	55.6%
	男性: 30代	300	50.0	86.7	57.7%
	男性: 40代	300	41.3	86.3	47.9%
	男性: 50代	300	31.3	86.0	36.4%
	男性: 60代以上	300	25.3	85.0	29.8%
	女性: 20代以下	300	24.7	61.0	40.4%
	女性: 30代	300	27.7	74.7	37.1%
	女性: 40代	300	26.0	78.7	33.1%
	女性: 50代	300	22.3	79.0	28.3%
	女性: 60代以上	300	15.7	81.3	19.3%

認知のきっかけはテレビ番組・CMが最も多い

渡嘉敷村認知者の認知のきっかけは、テレビ番組/テレビCMが最も高く、次いで旅行雑誌、旅行関連のサイト/旅行代理店となっている。

20代以下はSNSからの認知が他の世代よりも高い傾向となっている。
(詳細はP16グラフ参照)

渡嘉敷村認知のきっかけトップ



①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ③

■渡嘉敷村の来訪時期について

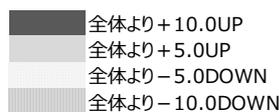
渡嘉敷村の来訪者の来訪時期は連休がとれる「8月」、「7月」、「5月」が最も多い。

渡嘉敷村の来訪シーズン（月別）では、やはり、トップシーズンとなる、ゴールデンウィーク、海の日、山の日がらみの連休、夏休み、お盆休み等の連休が取りやす時期となっている。

・来訪時期は性別では大きな傾向差は見られないが、性・年代別での差が見られる。
（詳細はP17グラフ参照）

繁忙期と閑散期の来訪者数や稼働率の差が問題であるが、事業者ヒアリングからは、現状維持でよしとする声も散見された。

一方で、リピーターを大切に年間通した観光事業を行う座間味の事例をあげ、閑散期での観光客誘致のためには、島全体での取組みの必要性が指摘されている。



来訪経験者の渡嘉敷村来訪月TOP3【性・年代別】

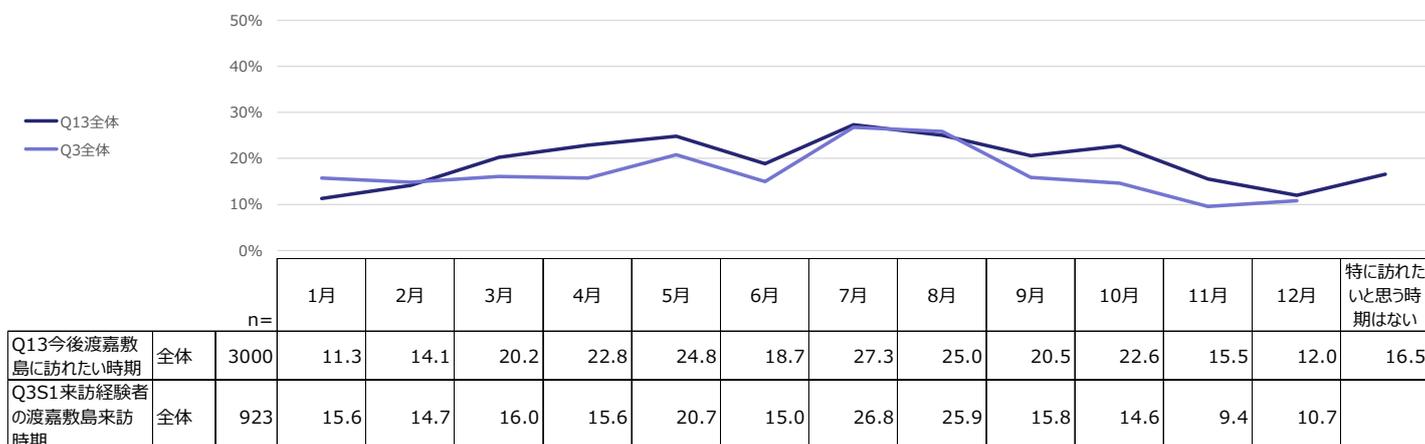
	n=	1番目に多い月		2番目に多い月		3番目に多い月	
		月	割合	月	割合	月	割合
全体	923	7月	26.9	8月	26.2	3月	20.0
男性：20代以下	130	8月	30.7	7月	29.3	5月	25.3
男性：30代	150	8月	33.9	7月	33.1	9月	23.4
男性：40代	124	8月	27.7	5月	24.5	7月	23.4
男性：50代	94	7月	31.6	6月	15.8	3月	13.2
男性：60代以上	76	5月	25.7	4月	24.3	8月	23.0
女性：20代以下	74	7月	28.9	8月	26.5	1月	21.7
女性：30代	83	8月	29.5	1月	21.8	1月	21.8
女性：40代	78	7月	20.9	11月	19.4	8月	17.9
女性：50代	67	5月	29.8	7月	25.5	3月	19.1
女性：60代以上	47	8月	29.3	7月	27.3	5月	18.8

■渡嘉敷村への来訪について

今後、渡嘉敷村を訪れたい時期については、比較的長い連休がある5月、7月、8月が多くなっている。

渡嘉敷村の来訪シーズン（月別）では、やはり、トップシーズンとなる、ゴールデンウィーク、海の日、山の日がらみの連休、夏休み、お盆休み等の連休が取りやす時期となっている。来訪経験者の渡嘉敷村来訪月とほぼ同様の傾向となっている。（詳細はP26グラフ参照）

今後渡嘉敷島を訪れたい時期と渡嘉敷島来訪経験者の来訪時期の比較



①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ④

■渡嘉敷村の魅力について

TOP3Boxスコアでは、約8割が渡嘉敷村に魅力を感じている。

TOP3Boxスコアでは、女性(73.2%)より男性(80.8%)が7.6ポイント高く、年代別でみると、20代以下と30代が84.7%で他の世代より魅力を感じている割合が高い。(詳細はP19グラフ参照)

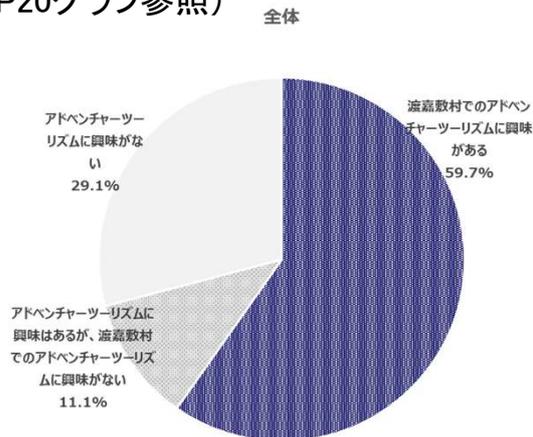
渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムには6割以上が興味あり。

男女別では、男性61.2%、女性58.3%全体と同様傾向で大きな差はない。

年代別では、30代の約7割が「渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味がある」と回答。

また60代以上は、50.7%と低めの傾向となっている。

(詳細はP20グラフ参照)



	n	渡嘉敷村でのアドベンチャーツーリズムに興味の有無		対「ATに興味有する人」ベースでの「渡嘉敷島のATに興味がある比率」
		興味がある	興味がない	
全体	3,000	59.7%	11.1%	84.3%
男性	1,500	61.2%	12.7%	82.9%
女性	1,500	58.3%	9.6%	85.9%
20代以下	600	60.5%	17.2%	77.9%
30代	600	67.2%	12.0%	84.8%
40代	600	61.8%	12.0%	83.7%
50代	600	58.5%	7.5%	88.6%
60代以上	600	50.7%	7.0%	87.9%

男性：20代以下	300	62.0%	20.3%	75.3%
男性：30代	300	67.3%	15.0%	81.8%
男性：40代	300	65.3%	13.3%	83.1%
男性：50代	300	58.0%	7.3%	88.8%
男性：60代以上	300	53.3%	7.3%	87.9%
女性：20代以下	300	59.0%	14.0%	80.8%
女性：30代	300	67.0%	9.0%	88.2%
女性：40代	300	58.3%	10.7%	84.5%
女性：50代	300	59.0%	7.7%	88.5%
女性：60代以上	300	48.0%	6.7%	87.8%

※「ATに興味を有する人」=「渡嘉敷村でのATに興味がある」+「ATに興味はあるが渡嘉敷村でのATに興味なし」

渡嘉敷村で体験したいのは「海上ボートからのホエールウォッチング」、「ナイトツアー」、「陸からのホエールウォッチング」が上位を占める。

全体では、「海上ボートからのホエールウォッチング」77.6%が最も高く、次いで「ナイトツアー(生き物・夜景・星空)」76.5%、「陸からのホエールウォッチング」75.5%となっており、この3項目は、性別、年代別、性・年代別においても、7割以上を獲得。男性20代以下では「シュノーケル体験」が2位にランクイン。

(詳細はP21グラフ参照)

渡嘉敷村で体験したいアクティビティ上位3コンテンツ

	n	1位			2位			3位		
		スコア	コンテンツ	スコア	コンテンツ	スコア	コンテンツ	スコア	コンテンツ	
全体	3000	77.6	[海上ボートからのホエールウォッチング]	76.5	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	75.5	[陸からのホエールウォッチング]			
男性	1500	77.0	[海上ボートからのホエールウォッチング]	74.9	[陸からのホエールウォッチング]	72.9	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]			
女性	1500	80.0	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	78.1	[海上ボートからのホエールウォッチング]	76.1	[陸からのホエールウォッチング]			
20代以下	600	75.8	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	74.3	[海上ボートからのホエールウォッチング]	73.5	[シュノーケル体験]			
30代	600	76.8	[海上ボートからのホエールウォッチング]	76.2	[陸からのホエールウォッチング]	73.5	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]			
40代	600	79.8	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	78.5	[海上ボートからのホエールウォッチング]	77.7	[陸からのホエールウォッチング]			
50代	600	80.3	[陸からのホエールウォッチング]	79.5	[海上ボートからのホエールウォッチング]	77.8	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]			
60代以上	600	78.7	[海上ボートからのホエールウォッチング]	77.8	[自然観察]	75.3	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]			
男性：20代以下	300	74.3	[陸からのホエールウォッチング]	74.0	[シュノーケル体験]	72.3	[海上ボートからのホエールウォッチング]			
男性：30代	300	77.3	[海上ボートからのホエールウォッチング]	76.3	[陸からのホエールウォッチング]	70.3	[自然観察]			
男性：40代	300	77.3	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	76.3	[海上ボートからのホエールウォッチング]	74.7	[陸からのホエールウォッチング]			
男性：50代	300	78.0	[陸からのホエールウォッチング]	76.7	[海上ボートからのホエールウォッチング]	74.0	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]			
男性：60代以上	300	82.3	[海上ボートからのホエールウォッチング]	77.0	[自然観察]	73.3	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]			
女性：20代以下	300	81.3	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	76.3	[海上ボートからのホエールウォッチング]	73.0	[カヤックツアー]			
女性：30代	300	77.3	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	76.3	[海上ボートからのホエールウォッチング]	76.0	[陸からのホエールウォッチング]			
女性：40代	300	82.3	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	80.7	[海上ボートからのホエールウォッチング]	80.7	[陸からのホエールウォッチング]			
女性：50代	300	82.7	[陸からのホエールウォッチング]	82.3	[海上ボートからのホエールウォッチング]	81.7	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]			
女性：60代以上	300	78.7	[自然観察]	77.3	[ナイトツアー(生き物・夜景・星空)]	75.0	[海上ボートからのホエールウォッチング]			

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ⑤

■アドベンチャーツーリズムの経験について

アドベンチャーツーリズム経験有りは全体の約4割。AT経験者の経験場所は沖縄県本島、離島がそれぞれ約5割。AT経験地の比率は圧倒的に沖縄県。

アドベンチャーツーリズム経験者の経験場所は、沖縄本島51.4%と沖縄県の離島47.2%で、沖縄県での経験の比率が高くなっている。
 沖縄県本島及び離島での経験は30代が最も高くそれぞれ本島57.6%、離島54.7%となっている。
 (詳細はP22グラフ参照)

			対AT経験者の経験場所比率				
			AT経験有	沖縄県の本島で	沖縄県の離島で	沖縄県以外(離島を除く)で	沖縄県以外の離島で
n=			38.2%	51.4%	47.2%	31.6%	14.8%
性別	男性	1500	45.1%	51.8%	49.9%	34.2%	13.0%
	女性	1500	31.4%	51.0%	43.3%	28.0%	17.4%
年代別	20代以下	600	49.3%	52.7%	41.9%	30.1%	10.5%
	30代	600	48.2%	56.1%	53.6%	32.2%	15.9%
	40代	600	40.0%	54.6%	50.0%	30.8%	15.8%
	50代	600	28.7%	49.4%	40.7%	32.6%	16.3%
	60代以上	600	25.0%	37.3%	48.0%	34.0%	18.0%
性・年代別	男性：20代以下	300	61.3%	51.6%	45.1%	33.7%	10.3%
	男性：30代	300	57.3%	57.6%	54.7%	32.6%	12.8%
	男性：40代	300	48.3%	51.7%	58.6%	32.4%	13.1%
	男性：50代	300	30.3%	54.9%	45.1%	37.4%	12.1%
	男性：60代以上	300	28.0%	36.9%	40.5%	38.1%	20.2%
	女性：20代以下	300	37.3%	54.5%	36.6%	24.1%	10.7%
	女性：30代	300	39.0%	53.8%	52.1%	31.6%	20.5%
	女性：40代	300	31.7%	58.9%	36.8%	28.4%	20.0%
	女性：50代	300	27.0%	43.2%	35.8%	27.2%	21.0%
	女性：60代以上	300	22.0%	37.9%	57.6%	28.8%	15.2%

アドベンチャーツーリズム経験コンテンツは、「海でのアクティビティ」がトップ。

アドベンチャーツーリズム経験者の上位3コンテンツは、「海でのアクティビティ」、「山でのアクティビティ」、「森でのアクティビティ」が主となり、一部女性：50代で「地域の文化的な歴史鑑賞」、女性：60代以上で「集落散策」があがる。

⇒高齢者層にも無理のないアクティビティ受容ニーズがあるものとうかがえる。

(詳細はP23グラフ参照)

経験したことのあるアクティビティ上位3コンテンツ

n=	1位	2位	3位
全体	1147 海でのアクティビティ 63.6	山でのアクティビティ 42.0	森でのアクティビティ 31.3
男性	676 海でのアクティビティ 63.0	山でのアクティビティ 45.9	森でのアクティビティ 33.4
女性	471 海でのアクティビティ 64.3	山でのアクティビティ 36.5	川でのアクティビティ 30.8
20代以下	296 海でのアクティビティ 59.5	山でのアクティビティ 44.6	川でのアクティビティ 26.7
30代	289 海でのアクティビティ 67.1	山でのアクティビティ 46.7	森でのアクティビティ 35.3
40代	240 海でのアクティビティ 65.0	山でのアクティビティ 46.3	川でのアクティビティ 34.2
50代	172 海でのアクティビティ 68.0	山でのアクティビティ 35.5	森でのアクティビティ 30.8
60代以上	150 海でのアクティビティ 57.3	森でのアクティビティ 40.0	地域の文化的な歴史鑑賞 32.0
男性：20代以下	184 海でのアクティビティ 59.2	山でのアクティビティ 50.5	森でのアクティビティ 25.0 川でのアクティビティ 25.0
男性：30代	172 海でのアクティビティ 67.4	山でのアクティビティ 46.5	森でのアクティビティ 36.6
男性：40代	145 海でのアクティビティ 62.8	山でのアクティビティ 47.6	川でのアクティビティ 36.6
男性：50代	91 海でのアクティビティ 68.1	山でのアクティビティ 42.9	森でのアクティビティ 34.1
男性：60代以上	84 海でのアクティビティ 57.1	森でのアクティビティ 42.9	ナイトツアー 36.9
女性：20代以下	112 海でのアクティビティ 59.8	山でのアクティビティ 34.8	川でのアクティビティ 29.5
女性：30代	117 海でのアクティビティ 66.7	山でのアクティビティ 47.0	川でのアクティビティ 34.2
女性：40代	95 海でのアクティビティ 68.4	山でのアクティビティ 44.2	森でのアクティビティ 30.5 川でのアクティビティ 30.5
女性：50代	81 海でのアクティビティ 67.9	地域の文化的な歴史鑑賞 33.3	川でのアクティビティ 32.1
女性：60代以上	66 海でのアクティビティ 57.6	森でのアクティビティ 36.4	集落散策 33.3

アドベンチャーツーリズム経験者の体験金額ボリュームゾーンは、5,000円～15,000円。

アドベンチャーツーリズム経験者の体験金額は最も多いのは「5,000円～10,000円未満」で、次いで「10,000円以上～15,000円未満」となっている。

但し、年代別では60代以上で若干高めの傾向が見られる。(詳細はP24グラフ参照)

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ⑥

■ワーケーションにつて

渡嘉敷村でのワーケーションには3割以上が興味あり。

男女別では、男性36.9%、女性26.9%で男性が女性よりも10ポイント高くなっている。

年代別では、20代以下と30代以下の4割が「渡嘉敷村でのワーケーションに興味がある」と回答。

また60代以上は、17.3%と低めの傾向となっている。

(詳細はP25グラフ参照)

	n=	渡嘉敷村でのワーケーションに興味がある	ワーケーションに興味はあるが、渡嘉敷村でのワーケーションには興味がない	対「ワーケーションに興味有する人」ベースでの「渡嘉敷島のワーケーションに興味がある」比率
全体	3000	31.9%	11.1%	74.1%
男性	1500	36.9%	13.1%	73.7%
女性	1500	26.9%	9.1%	74.7%
20代以下	600	39.8%	19.0%	67.7%
30代	600	41.7%	12.3%	77.2%
40代	600	36.5%	10.2%	78.2%
50代	600	24.2%	8.7%	73.6%
60代以上	600	17.3%	5.5%	75.9%
男性：20代以下	300	44.3%	21.3%	67.5%
男性：30代	300	48.3%	14.0%	77.5%
男性：40代	300	42.7%	12.7%	77.1%
男性：50代	300	29.3%	9.7%	75.2%
男性：60代以上	300	19.7%	8.0%	71.1%
女性：20代以下	300	35.3%	16.7%	67.9%
女性：30代	300	35.0%	10.7%	76.6%
女性：40代	300	30.3%	7.7%	79.8%
女性：50代	300	19.0%	7.7%	71.3%
女性：60代以上	300	15.0%	3.0%	83.3%

①WEB調査、事業者・村民アンケート

調査結果サマリー概要 ⑦

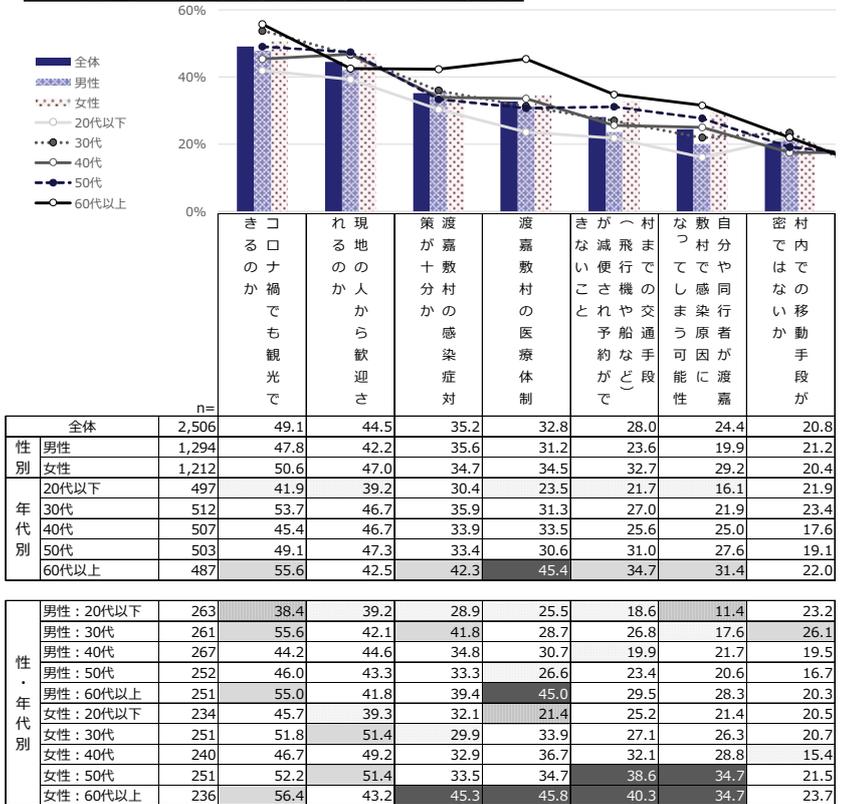
コロナ渦での渡嘉敷村を訪れる際の不安項目は「コロナ渦でも観光できるか」、「現地の人から歓迎されるか」、「渡嘉敷村の感染症対策が十分か」が上位3位項目。

不安に感じることは「観光ができるかどうか?」という旅行自体の楽しみが確保されるのかと、「現地の人から歓迎されないのでは?」という現地の人から見た自分たち旅行者のスタンス、そして「渡嘉敷村の感染症対策」という新型コロナ感染症罹患への不安といったことが上位へあげられており、本当に旅行を楽しめる環境下にあるのかどうか不安要素となっている。

(詳細はP27グラフ参照)

事業者ヒアリングからは、パテーションや消毒、ソーシャルディスタンスの確保など、渡嘉敷村でもコロナ感染対策はとられているが、店舗によって取組み方に温度差が見られ不公平感が持たれている。

コロナ渦での渡嘉敷村来訪の不安要素



■コロナ渦で渡嘉敷村に求めたいコロナ対策

コロナ渦中で渡嘉敷村に求めたいことは、「同一空間での人数制限」が最も高く、「テーブルなどの間隔を広く」、「除菌スプレーの常備」、「村民のマスク着用」、「渡嘉敷村の感染情報の公開」の5項目が約4~5割弱となっている。

全体では、「同一空間での人数制限」45.8%が最も高く、次いで「テーブルなどの間隔を広くする」42.0%、「村民のマスク着用」39.1%、「除菌スプレーの常備」38.8%、「渡嘉敷村の感染情報の公開」37.5%と続く。

性別では、男性よりも女性が各項目とも数値が高い傾向となっており、男性よりも女性の方がコロナ渦における危機意識が高いことがうかがえる。(詳細はP28グラフ参照)

コロナ渦での渡嘉敷村に求めたい感染対策

